

かみなりぐも にゅうどうぐも ちゅうい 「雷雲(入道雲)に注意しよう。」

かみなり ちゅうい 雷に注意!!

なつ 夏は空のようすに気をつけよう。



にゅうどうぐも 入道雲

はげしい雨 この下では雲が黒く見えます

【入道雲の写真】

写真のように入道雲を遠くで見ると白い雲に見えますが、入道雲の下に行くと真っ黒い雲に見えます。



【急な冷たい風】 【雷の音】 【真っ黒い雲】

七月に入りました。もうすぐだのしい夏休みですね。夏休みに山や川、海などに出かけるお友だちもいるとおもいます。夏の晴れて暑い日には、午後になると急に雷雲が発生することがあるので注意が必要です。この雷雲は、入道雲とも呼ばれます。入道雲の下では、はげしい雨が降ったり、雷や竜巻がおこることがあります。出かけるときに天気予報で「雷」に注意しましょう」といっていたら、空のようすに気をつけて、真っ黒い雲、雷の音、急な冷たい風に気付いたらすぐに家の中に逃げましょう。

あそ 小さな川で遊ぶときも空のようすに気をつけよう。

ぞうすい ちゅうい 川の増水に注意!!

川遊びしている川の上流の山で入道雲が発生して、はげしい雨が降ると、川遊びしている場所で雨が降っていない場所でも、写真のように十メートル、写真のように十分くらいで急に水かさが増して、はげしい流れになります。逃げ遅れると大人でも流されてしまいます。山に入道雲がかかっていたり、雷の音を聞いたらすぐに川から上がります。橋の下で雨が降ります。橋の下で雨宿りするのはとても危険です。



およそ10分後



【急に水かさが増してはげしい流れになった川の写真】

出典 http://www.thr.mlit.go.jp/sendai/kasen_kaigan/river-attention/pdf/O2.pdf (おおもとの出典は神戸市) 上流の山で大雨が降り、川遊びをしていた子どもたちが、雨を避けて橋の下で雨宿りをしていたところ、急に増水した川に流された。

<先生方へ>10分間、防災について考えてみませんか

「10分で防災」とは、ホームルームや帰りの会などの短い時間で、命を守る防災を学習するプログラムです。

流れは「(その1)自分で考える。(その2)みんなで話し合う。(その3)みんなに発表する。」です。

災害は毎年どこかで発生しています。ニュースを見聞きしたときなどに、災害を自分のこととして考える「きっかけ」となることを期待しています。

考えてみよう

台風が近づいたときに、どんなことがおきかと思いませんか?

何がおきる
ここに色々書いて
ください!



2018年	7月5日	木曜日
平成30年		
福岡管区気象台	〒810-0052	
防災調査課	福岡市中央区大濠 1-2-36	
電話	092-725-3614 (記事) 092-725-3600 (天気相談所)	
メール	fk-kanku@met.kishou.go.jp (ご意見・ご要望はこちらまで)	

お天気Q&A

Q: 急に雨が降ってきたとき、雨に濡れたくないので、木の下で雨宿りしても大丈夫ですか?

A: 木の下での雨宿りは危険です。

急に雨が降ってきたときは雷にも注意しましょう。木に雷が落ちると、木から人へ雷が飛び移ることがあるからです。

急な雨で雷を見聞きしたら、すぐに建物や車の中など安全な場所にひななみましょう。



気象情報へのアクセス

防災教育の支援は

福岡管区気象台 防災教育支援

10分で防災は

福岡管区気象台 10分で防災